

えすぽあ

espoir (エスポアール)=フランス語で「希望」

No.49
2017.3

「男女がともにさんさんと輝けるまち つやま」の実現をめざして…

えすぽあ
インタビュー

すずきひな
鈴木妃奈さん
(農業)

誰でもいちごやぶどうの収穫体験ができる農園「まほらファーム」(津山市野村)を営んでいる鈴木妃奈さんに話を伺いました。

・・・農業に興味を持つようになったきっかけを教えてください。

中学生のころ1年間カナダへホームステイしたことがあり、そのホストファミリーが自給自足を実践していて、そのころから将来農業をしたいと思い始めました。

・・・大学卒業後は、まず会社員になつたそうですね。

大学では農学を専攻しましたが、そのころ英会話教室が主催するキャンプの世話をしたことがきっかけで、アウトドアメーカーとの関わりができ、そのメーカーに就職しました。就農にも興味はありましたが、親戚に農家のひともおらず、どのように農業に関われるのかわからなくて、あきらめました。

・・・農業を始めるきっかけは？

農業体験もできる農園「まほらファーム」が設立される時、設立の中心者が父と懇意にしていた、声がかかりました。

農業は大学で専攻していたとはいえ、経験がないので2年ほど研修を受けてから、まほらファームの運営に関わるようにな

りました。

・・・農園の経営も行うようになったきっかけは？

農園設立の中心者である前の経営者が亡くなり、誰が経営を続けていくのか関係者で相談したところ「現場のひとに任せたらよいのではないか」ということになりました。経営の経験もないことから、具体的な不安要素を考えつくこともなく「やるしかない」と思うようになりました。

・・・経営者の仕事は大変ではないですか？

経営者はわたしということになっていきますが、すべてのことを自分で決めているわけではなく、重要事項については関係者とともに決定しているので、精神的な負担はそれほど大きくないです。関係者が酪農家や養鶏家、園芸農家など多岐にわたっていることを強みと考えていて、みななでよい農園となるように協力しています。わたしはその取りまとめ役という立場で行動しています。

・・・どのような農園をめざしていますか？

体験型農園については、いたれりつくせりの観光農園ではなく、体験



津山市への移住をアピールするポスターのモデルになりました。

者が自ら作業を工夫できる余地を残したものにしたいです。そのような経験を通して、農業を身近なものに感じられるようになってほしいです。また、直売所など既存の施設や地元の飲食店、地元の教育機関等と協力して、まほらファームのここできかない体験ができるものにしてほしいと考えています。今はまだまだですが、栽培品目を増やし、1年中、農業体験ができたり、全国のお客様へ津山のおいしいものがお届けできるようにしたいです。

・・・今後の展望は？

家庭と職場の仕事を楽しく両立できる会社になりたいです。仕事が忙しすぎて嫌になってもいけないので、適度になるよう農園内の仕事量をみんなで調整するようになっています。子育て中のかたや高齢者のかたも多いですが、みなさんの状況に応じて仕事がやりやすいようにします。「いやいや仕事をする」のではなく、「仕事をやりたいからする」ということが実践できる場所になりたいです。



アンケート結果から見えてくる

すすんでる？

おくれてる？

津山市民の男女共同参画意識

「男女がともにさんさんと輝けるまち つやま」の実現をめざして



市では「第3次つやま男女共同参画さんさんプラン」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを進めています。平成29年度（2017年度）末に期間終了を迎えるにあたり、計画見直しの基礎資料とするため、平成28年（2016年）8月に男女共同参画に対する意識調査アンケートを実施しました。

その結果の一部を紹介します。

【調査の概要】

対象…津山市在住の18歳以上の男女各1,000人、計2,000人（無作為抽出）

有効回答数…591人（女性224人 男性138人 性別無回答229人）

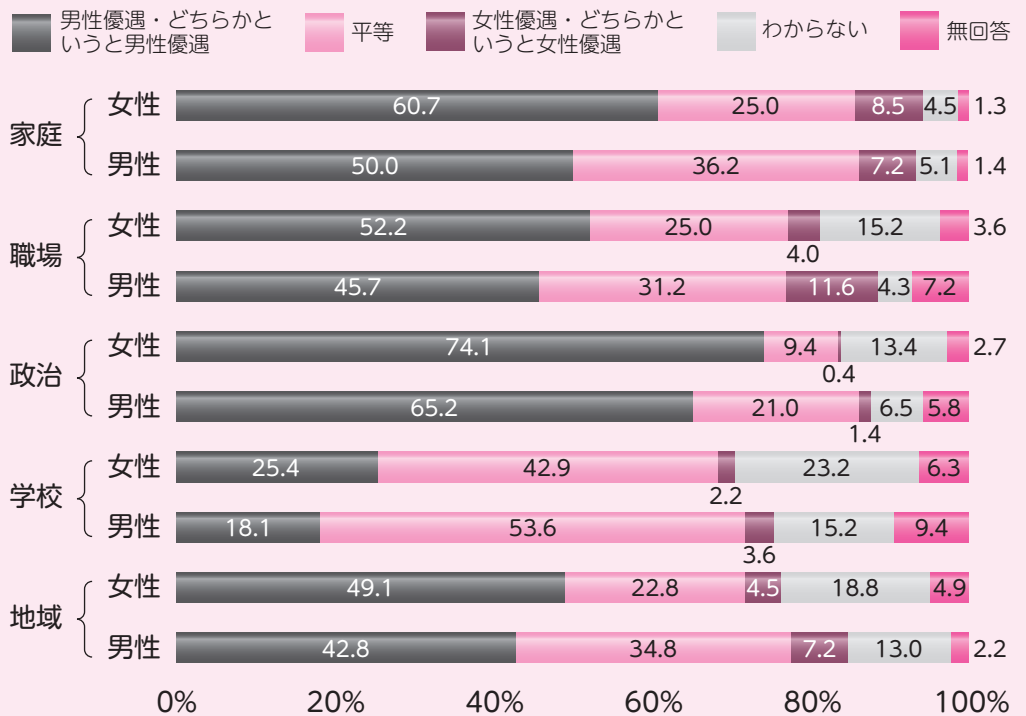
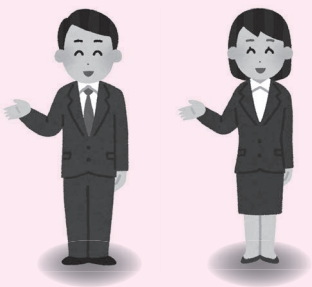
回収率…29.6%

（端数調整の方法により、回答の割合の合計値が「100.0%」にならないことがあります。）

社

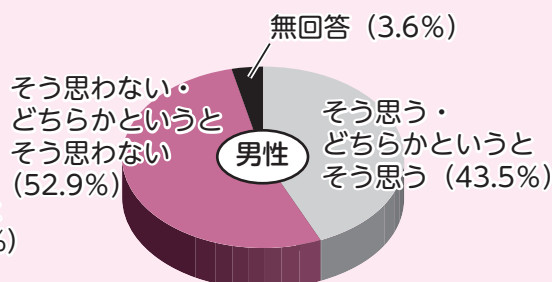
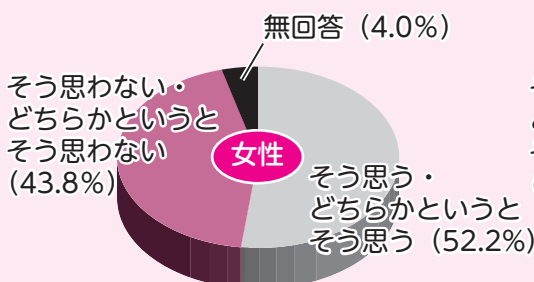
会のいろいろな場面において、男女が平等になっていると思いますか？

「平等」と答えた人が最も多いのは、男女ともに「学校」となっています。前回（平成23年度）調査と比較すると、「男性優遇・どちらかという男性優遇」の割合が、「職場」の男性と、「地域」の男女では減りましたが、他の項目では増えています。



夫

婦別姓の結婚が認められてもよいと思いますか？

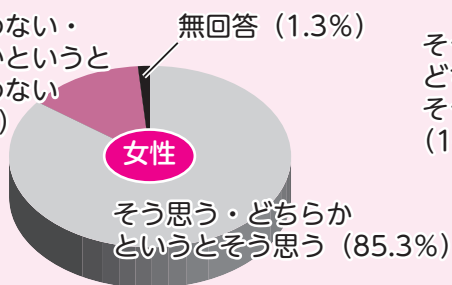


女性で過半数を占めているのは「そう思う・どちらかというそう思う」ですが、男性で過半数を占めているのは「そう思わない・どちらかというそう思わない」です。

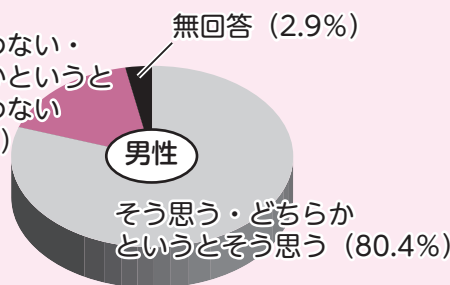
男

性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担するべきだと思いますか？

そう思わない・
どちらかという
そう思わない
(13.4%)



そう思わない・
どちらかという
そう思わない
(16.7%)

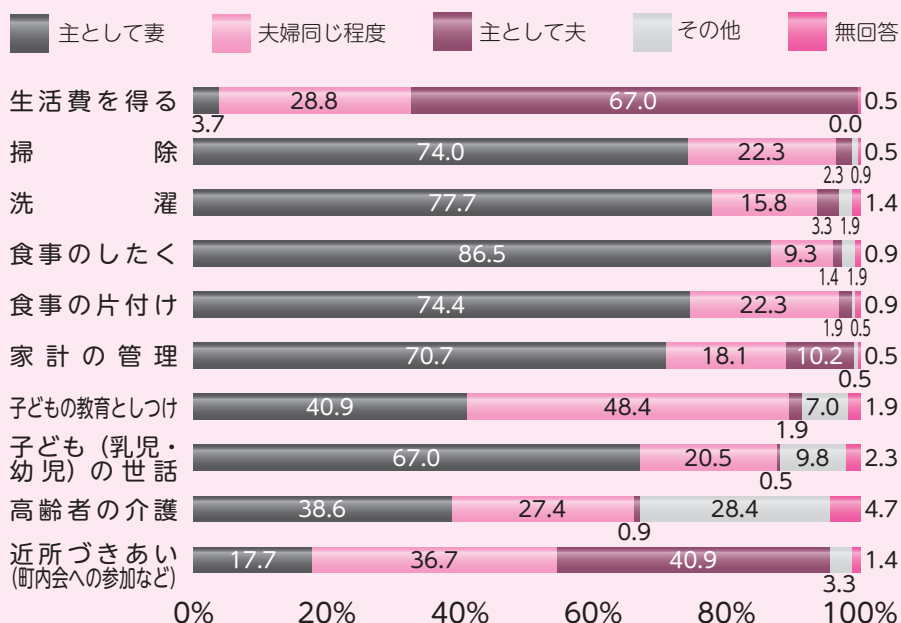


男女間で若干の意識
差がみられますが、「そ
う思う・どちらかとい
うとそう思う」が男女
ともに8割を超えてい
ます。

家

庭では、家事・育児等をどなたが主に担当していますか？（共働き世帯）

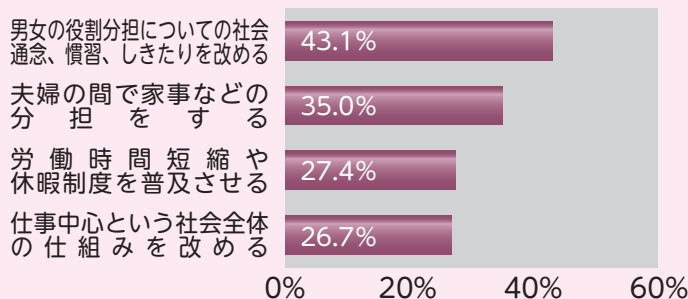
家事や子育てなどの家庭の責任を
男性も分担するべきと思っているの
は男女ともに8割を超えています
が、実際の役割分担をみると、「掃
除」「洗濯」「食事のしたく」「食事
の片付け」「家計の管理」「子ども
の世話」については「主として妻」が
6割～9割を占めています。



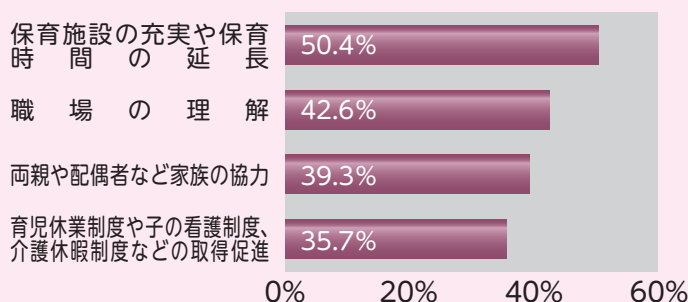
今

後の課題や希望

男性が家事、子育てや教育、介護に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか？（上位4項目）



女性が働きつづけるために必要なことは何だと思いますか？（上位4項目）



アンケートではこのほかに、結婚・子育て・就労・介護・社会参加・DV・セクハラ・行政の役割など、様々な分野について尋ねました。

市では、今後も男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。そのためにも、市民一人ひとりの積極的な意識改革と課題の共有が必要となります。

なお、アンケート結果の全体版及び概要版は、「さん・さん」やホームページで閲覧できます。

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/index2.php?id=169>

出前講座 行きます!

「さん・さん」では、だれもが人権を尊重され自分らしい生き方ができる男女共同参画社会の実現のための講座を無料で市内へ出前します。町内会や職場などの研修にもご利用いただけます。気軽に「さん・さん」へお問い合わせください。

☆所要時間は40分から90分が目安となります。

☆外部講師のご希望があれば紹介します。

☆会場使用料などの諸経費は、主催者でご負担ください。

【これまで実施したメニュー (例)】

- ・男女共同参画について
- ・津山市の男女共同参画について
- ・津山男女共同参画センター「さん・さん」について
- ・ワーク・ライフ・バランスについて
- ・性的マイノリティ (LGBT) について
- ・配偶者等からの暴力 (DV) について
- ・男女共同参画視点での地域防災

その他、相談に応じて内容を決めることもできます。



登録団体紹介

「さん・さん」には団体の登録制度があります。登録されると会議室の利用料が免除されるなどの利点があります。男女共同参画社会の実現に向けて活動している団体などが活動する場所として、活用を検討してみたいかがでしょうか。

A・F・C

代表 瀬畑史子さん
土居敦子さん

どのような団体が
教えてください。

「さん・さん」の中にある津山ファミリー・サポート・センターの会報を作っていた2人で結成しました。子育てをしていると「こうでなければならぬ」と必要以上に責任を感じてしまうことから、悩みや苦しみにつながることもよくあります。そのようなことから解放され、そのひとらしさを尊重しながら子育てなどの日常生活ができるよう、「自分らしさを世界のために」を合言葉に活動しています。



会員は15名程度です。特に決まった活動はしておらず、興味のあることをやっています。最近1月に1回程度ヨーガを行うことが多く、過去にはボイスマネジメントの研修も行いました。

「さん・さん」をどのように活用していますか。

ヨーガを行うことが多いので、「さん・さん」の和室を使用しています。ふすまを開ければ2部屋で18畳を確保できるので、10名程度ならヨーガを行いやすいです。



さん・さん祭り2016での講座

新着図書紹介

男女共同参画に関する図書・ビデオ・DVDを取りそろえ、皆さんにお貸ししています。
図書は1カ月以内で何冊でも、ビデオ・DVDは2週間以内で2本まで貸出できます。

「育休世代」のジレンマ 女性活用はなぜ失敗するのか?

中野円佳 / 著(光文社) 2014年

出産後の就業継続の意欲もあつた女性たちが、退職に至るのはなぜなのか。また会社に残っても、意欲が低下したように捉えられてしまつのはなぜなのか。



恋の相手は女の子

室井舞花 / 著(岩波書店) 2016年

教科書には「思春期には異性に関心をもつ」って書いてある。同性を好きになるわたしはまちがってる? 「多様性に寛容な社会」への思いを語る。



広告は、社会を揺さぶつた

ボーヴォワールの娘たち

脇田直枝 / 著(會伝会議) 2015年

広告の一行のキャッチコピーが時代や世相を斬り、人の心を動かす。広告、女性たちの変遷と時代の変化を読み解く。



夢みる教養

文系女性のための知的生き方史

小平麻衣子 / 著(河出書房新社) 2016年

「教養」という語に折りたたまれた心性を解きほぐし、前向きに学ぶ女性たちの実現されない夢の構造を明らかにする。

